



関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科主催  
第8回 東京シンポジウム

首都直下地震・南海トラフ巨大地震へ備えよ！  
-熊本地震から得た教訓-

2017年 **12月1日** **金** 13:30-17:00

参加費  
無料

会場：関西大学東京センター 千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階  
(JR東日本、東京駅、日本橋口)

2016年4月に発生した熊本地震から1年半が経過し、さまざまな研究分野から調査・研究が進められ、被害の実態・発生メカニズムや地震時の初期対応、創造的復興に向けた課題が明らかになってきました。本シンポジウムでは、熊本地震から何を学んだのか、新たな知見や教訓を踏まえて、将来、高い確率で発生するといわれている首都直下地震、南海トラフ巨大地震に対してどのように備えるべきかについて議論します。なお、学生によるパネル研究発表も12時30分より開催しておりますので是非足をお運びください。

プログラム

総合司会 奥村与志弘 (関西大学社会安全学部 准教授)

13:30~13:40 開会挨拶 安部誠治 (関西大学社会安全学部長)

第1部 13:40~15:10

基調  
講演

13:40~14:10

「日本がつぶれる！」 河田恵昭 (関西大学社会安全学部 特別任命教授)

調査  
報告

14:10~ 「熊本地震とはどのような地震だったのか？」 林 能成 (関西大学社会安全学部 教授)

14:25~ 「熊本地震における構造物被害」 一井康二 (関西大学社会安全学部 教授)

14:40~ 「熊本地震における文化財被害」 小山倫史 (関西大学社会安全学部 准教授)

14:55~ 「熊本地震における被災者支援」 山崎栄一 (関西大学社会安全学部 教授)

第2部 15:30~17:00

「熊本地震から何を学び、首都直下地震・南海トラフ巨大地震に備えるか」について議論する

パネルチェア：奥村与志弘

パネリスト：河田恵昭、一井康二、林 能成、山崎栄一、小山倫史

■ 学生によるパネル研究発表 12:30~17:30 (於：教室3)

講演者・パネリストプロフィール



河田恵昭

かわた よしあき

関西大学社会安全学部特別任命教授  
防災・減災研究における世界のトップランナー。2009年防災功労者内閣総理大臣表彰。



林 能成

はやし よしなり

関西大学社会安全学部副学部長  
マグマ貫入に伴う群発地震の発生過程の研究を経て、文理融合研究や地域連携研究を行っている。



一井康二

いちい こうじ

関西大学社会安全学部教授  
性能評価に基づく耐震基準の策定や普及に従事し、港湾の施設の技術上の基準・同解説やISO準拠の耐震施設事例集への設計事例等を執筆。



小山倫史

こやま とむふみ

関西大学社会安全学部准教授  
土木工学の地盤・岩盤工学であり、特に、岩盤内の地下水および熱-応力-浸透-化学反応連成挙動の数値シミュレーションが専門。



山崎栄一

やまさき えいいち

関西大学社会安全学部教授  
被災者支援法制、高齢者・障がい者等の災害時要配慮者の支援、災害時における個人情報に関する調査・研究を行っている。



奥村与志弘

おくむら よしひろ

関西大学社会安全学部准教授  
文理融合による総合防災、津波工学、地震工学が専門。最近、新規に防災・減災事業を取り組む民間企業との連携にも力を入れている。

申込方法 / 関西大学社会安全学部ホームページからお申し込みください。 [http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)

定員 120名 先着順 11/15締切

※定員になり次第受付を終了させていただきます。

お問い合わせ先 / 関西大学社会安全学部東京シンポジウム事務局 TEL: 072-684-4000 FAX: 072-684-4007 E-mail: ss-sympo@ml.kandai.jp